

## 第40回国際統合化委員会 バンコク会議

2017年2月28日～3月2日の日程で第40回国際統合化委員会 (IHC) バンコク会議 (AIGA主催) が開催されました。

IHC会議は、IOMA (国際酸素製造者協会) 国際委員会の下部組織で、保安技術上の重要な基準を共有 (国際統合化) し、産業ガス業界会員各社の保安の確保と業務の効率化を目的として活動しています。IHC会議への参加者は、産業ガス4協会 (日本/JIMGA、ヨーロッパ/EIGA、アメリカ/CGA、アジア/AIGA) のIHCメンバーとIOMA国際委員会のオブザーバーです。

今回の会議には、ヨーロッパから4名、アメリカ4名、日本3名、アジア4名の参加があり、Milan Sarker (AIGA事務局長) 議長の下、会議が進められました。自己紹介に続いて、独占禁止法遵守の確認を行い、報告・討議が開始されました。最初に各協会から、前回会議 (2016年7月ロンドン開催) 以降の各協会の活動が紹介されました。

JIMGAからは、産業ガス部門として、昨年11月に改正された一般高圧ガス保安規則 (毒性ガス、液化ガス、貯蔵規制) 概要、長期停滞容器の回収キャンペーン、容器RFタグ、水素スタンドプロジェクト、事故 (年度件数推移含む)、医療ガス部門では、酸素・二酸化炭素容器のラベルの統一とバーコードの法律改訂、事故とリコールについて報告しました。

続いて、JIMGAとAIGAがリードしている特殊ガスのギャップ分析 (危険源とプロセスをパラメータとした危険度と技術文書有無の解析) について、進捗と今後の予定について確認しました。また、現在IHC活動中の30件 (新規10件、改訂20件) の文書作成進捗を確認し、各協会の発行目標を明確にしました。併せて、完了プロジェクト3件、新規プロジェクト3件が承認されました。国連、ISO、水素関連活動、食品ガス (国際飲料技術者協会 (ISBT) の活動)、事故について、各協会より報告があり、産業ガス事業への影響について議論しました。また、四半期毎に発行されているIOMA情報誌のBroadcasterのIHC活動の紹介記事に関する広報活動の今後の方向性について確認しました。



第40回IHCバンコク会議参加メンバー集合写真

最終日の3月2日は、第5回協会医療問題調整会議が開催されました。医療ガスに係る国際間地域差を認識し、問題の共有化を図るとともに、その連携方法に関して議論することを目的とした会議です。CGAから、PIC/S（医薬品査察協会及び医薬品査察協同スキーム）と米国の法規制の比較評価結果の説明があり、米国食品医薬品局（FDA）は医療ガス用に特定の法規が必要であるとの認識をCGAに示したとの報告がありました。また、医療ガスに関しては、今後も情報交換を行っていくことが重要であるとの共通認識が得られたため、本会議は中断するものの、IHC会議の議題としての継続が決まりました。

次回第41回IHC会議はCGA主催で7月11～13日にアメリカ・コロラド州・デンバーで開催されます。

## 平成28年度下期発行の国際整合化文書のご案内

No.	書籍名	基準番号	判型	発行年月日
37	酸素と不活性ガスの安全な排気	IHC-Doc/37/16	A4	H28.12.26
38	消火用ガス向け急速放出シリンダー弁の危険性	IHC-Doc/38/17	A4	H29.3.27
39	PSA及び膜式酸素及び窒素発生装置の安全な設置及び取扱い	IHC-Doc/39/17	A4	H29.3.27

平成28年10月以降に上記3件の参考文書をJIMGAウェブサイトに掲載しました。

これらは、IHCメンバー4協会が国際整合化基準（英語）として発行した文書をJIMGAの国際整合化文書（参考文書）として、一部または全てを日本語に翻訳し発行したものです。各協会の法規等の違いで、内容は必ずしも日本の国内法に則ったものではありませんが、『国内法に準拠した内容に改め、JIMGA基準とすべきである』というご要望を頂いた場合は、JIMGA基準化を検討します。皆様、ぜひご意見・ご要望等をお寄せください。

標記文書をご覧になる場合は、下記リンク先をご参照下さい。

<http://www.jimga.or.jp/front/bin/cglist.phtml?Category=7074#list07>

（※文書の閲覧には会員IDとパスワードが必要です）



<問合せ先>

担当：国際部会事務局 羽坂 智

e-mail shasaka@jimga.or.jp

TEL 03-5425-2420 FAX 03-5425-2256

(国際部会事務局 羽坂 智)

## 会員紹介 ー株式会社大岡酸素商会ー

### はじめに

兵庫県は、阪神・播磨の大工業地帯を抱え、日本最初の酸素製造装置を陸揚げし、国内有数の行政指導を確立させた土地柄です。その歴史から、未曾有の高圧ガス事故を経験した兵庫県は、国内法に先駆けて圧縮瓦斯の規制令を発布するなどにとどまらず、高圧ガス協同組合など産業界と協力し保安を推進してきました。その一翼、播磨臨海工業地域の中心、姫路エリアに昭和3年、医療用酸素ガスの販売店として生まれたのが、弊社大岡酸素商会です。

### 沿革

弊社は昭和3年設立後、戦線に備え工業地帯が整備される中、稀有な酸素の供給企業として、工業ガスの分野に業容を拡大しましたが、姫路大空襲で資産をほぼ焼失、戦後再びゼロからの出発となりました。

この逆境を乗り越え、昭和32年には配送センター、37年には酸素充填工場を立ち上げ、業界では兵庫県高圧ガス協同組合設立に携わり、初代理事長会社となりました。昭和49年には、創業当時から友好関係を築いてきた岩谷産業との合併で、LPガスの販売と配送受託の別会社、姫路マルキ株式会社を創業、後にこれを完全子会社化して姫路サンソ工業と社名を変更、62年に設立した産業・医療の総合ガスセンターを運営する会社としています。

その後平成7年、姫路サンソ工業は岩谷産業から再び資本を受け入れ、充填工場に岩谷瓦斯から工場長を迎えるとともに、岩谷産業の兵庫ガスセンターとなりました。平成19年には業務提携を行って経営陣を強化、25年には資本提携して岩谷産業の連結子会社となり、2年後に本社を臨海工業地帯に新設・移転、続いて西営業所を立ち上げるなど、常に発展し、地域のリーダー企業として、新たな体制で取り組んでいます。



本社外観

## 保安

創業以来、高圧ガス保安を徹底してきた弊社では、現在保安台帳の電子化により、極めて逐次性の高い出荷ガス情報が反映されるようになり、容器保安対策指針の発表前から、保安部門が中心となった容器の早期回収に加え、年間契約（自動的な1年毎の容器交換）による1年以上の停滞撲滅も進めてきました。さらに酸素・アセチレン、LPガスのガス種毎に独自の周知文書を用意、納品時毎に完全に漏れのない文書配布を実現し、新設のセミナールームを活用して、隔月に社内保安教育を、また消費先を集めた講習会も開催しています。

製造（充填）工場では、配送スタッフと連携し、年間の社内教育・訓練や、毎週のKY活動も行い、資格のある専任の部隊が、有償契約した消費先設備等の保安パトロールにあたっています。

また消費現場向け保安情報（セーフティーレポート）を、消費先すべてに提供するほか、高圧ガス輸送上の注意、盗難防止等の注意文書入りティッシュを作成、指針の漫画ガイドブックなども配布するなど情報提供に注力し、これら活動により意識の高まった顧客のリクエストに応じて、消費先従業員講習会も意欲的に行っております。

## おわりに

高圧ガス販売店にとって、保安は顧客からの信頼と円滑な営業活動を支える根幹をなすものです。弊社は販売店として、高圧ガスに必ず安全な利用を添え、消費現場に届けることをモットーに、今後も発展し続けて参ります。



姫路工場正面



姫路工場全景

(株式会社大岡酸素商会 取締役会長 大岡 久晃)

## e-ラーニングに「溶解アセチレンの安全な取扱い」を新設しました

この度、技術・保安部会 教育・研修WGで作成したe-ラーニング「溶解アセチレンの安全な取扱い」をJIMGAウェブサイトに掲載しました。構成内容は次のとおりです。

構成内容	
1. アセチレンとは	2. アセチレンの用途
3. アセチレンの製造	4. アセチレンの物理・化学的性質
5. 溶解アセチレンの危険有害性	6. 溶解アセチレン容器
7. 溶解アセチレン使用	8. 溶解アセチレン逆火
9. アセチレン事事故例	

本教材では、約40分間で溶解アセチレンに関する知識を幅広く学ぶことができます。溶解アセチレンを初めて使用する方はもちろん、既に使用されている方にも改めて取り扱い時の安全について学習する教材として使用していただける内容になっています。

プログラムの最後に学習成果を確認するための理解度テストが設けられています。114問の中からランダムに15問を出題しますので、理解度テストは毎回違う組み合わせで出題されるようになっています。講義終了後にはJIGA時代に作成した「安全なアセチレン溶接・切断作業」のビデオも視聴できます。

多くの方に活用していただき、溶解アセチレンの取り扱い時の安全・保安に役立てていただければ幸いです。下記URLまたはJIMGAウェブサイト内のバナーをクリックしてご利用ください。e-ラーニングURL : <http://www.jimga.or.jp/front/bin/cglist.phtml?Category=7228>

**このバナーをクリック!**

**JIMGA e-ラーニング**

- 高圧ガスの安全基礎知識(改訂版) 2016年7月改訂
- 高圧ガスの安全基礎知識(ドイツ版)
- 水素の安全な取扱い
- 酸素の安全な取扱い
- 炭酸ガス(二酸化炭素)の安全な取扱い
- 溶解アセチレンの安全な取扱い

一般社団法人 日本産業・医療ガス協会  
Japan Industrial and Medical Gases Association

JIMGA-T-SV/08/17

**溶解アセチレンの安全な取扱い**

一般社団法人  
日本産業・医療ガス協会  
Japan Industrial and Medical Gases Association

一般社団法人  
全国高圧ガス溶材組合連合会  
日本乾式安全器工業会

JIMGAは本編講習もしくは予習の参加前には使用による危険性若しくは責任を及ぼす結果の保証をすることをめざさず、またそれらに關しての責任を負うものではない。なお、本資料の転載は、JIMGAにありませぬ。複製には、JIMGAの許諾が必要で、す。

平成29年4月

**メニューを選択して e-ラーニングを開始!**

技術・保安部会 教育・研修WG